

1 題材名「とっておきの秘密基地をつくろう」 第5学年 A表現(1)・B鑑賞(1)

2 題材について

今回の題材は、子どもたちが秘密基地をつくる場所を見付けるところから始まる。そこに必要な材料を準備し、選んだり、組み合わせたりしながら秘密基地をつくっていく。今回製作する秘密基地には設計図がない。そのため、場所や材料の形や色、質感などの特徴を生かし、想像力を働かせながら製作することになる。このような活動を通して、自由な発想から材料を見立てて、表現する力を身に付けさせたい。

指導に当たっては、材料を秘密基地に利用するとき「○○みたい!」と言葉で表現させることでイメージの共有が図れると考えた。一人一人が思い付いたことを話し合い、発想を刺激し合いながら、グループの発想や表現を大切にしたい。また、鑑賞の活動に当たっては、友達の作品のよさを認め合い、材料の見立て方や表現の工夫にも気付けるようにしたい。

「とっておきの秘密基地をつくろう」の学習を通して、材料の特徴や場所の雰囲気を考えながら、イメージを形にする楽しさと作品を完成させる達成感を味わわせるとともに、普段の学校生活で何気なく目にしていない場所に、目をひくような作品を製作できればよいと考える。

3 題材の目標

- ・場所や材料の特徴に関心を持ち、自分たちの作品をつくることを楽しむ。
- ・場所や材料の形や色、質感などの特徴から、つくりたい基地のイメージを考え、材料や用具の扱い方を工夫して表す。
- ・他のグループの基地のよさや表し方の工夫を捉える。

4 準備物

児童…軍手、班ごとに秘密基地をつくる材料(木切れ、ダンボールなど)

指導者…のこぎり、金づち、釘、麻糸、針金、ボンド、材料各種(自然木など)

5 学習計画(全10時間)

- (1) 秘密基地をつくる場所を見つける。……………(1時間)
- (2) 身近な物で秘密基地をつくる材料を集める。……………(2時間)
- (3) 場所や材料の特徴から材料や用具を生かして秘密基地をつくる。……………(6時間) 本時4/6
- (4) 完成した秘密基地で遊び、それぞれの作品のよさや工夫点を発表し合う。……………(1時間)

6 題材の評価規準

造形への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・場所や材料の特徴に関心を持ち、自分たちの作品をつくることを楽しんでいく。	・場所や材料の形や色、質感などの特徴から、つくりたい基地のイメージを考えている。	・場所や材料の特徴を生かしながら、材料や用具の扱い方を工夫している。	・他の秘密基地を訪ね、他のグループの基地のよさや表し方の工夫を捉えている。

7 指導と評価の計画

児童の活動	指導上の留意点(■指導 ★評価)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「とっておきの秘密基地」をつくろう!</div>	
1. 班ごとに作品の進行状況を発表する。	■材料からどのようにイメージしたのかを伝えるように促す。
2. 班ごとに秘密基地をつくる。	■安全に注意しながら作業させる。 ★班で協力しながら主体的に製作を行っている。 (造形への関心・意欲・態度) ★場所や材料の形や色、質感などから、想像を膨らませ、材料を見立てている。(発想や構想の能力)
3. 本時の振り返りをする。	■本時の製作で工夫した点、苦労した点や次の活動への見通しなどを発表させる。

1 題材名「いいな いいな あったらしいなこんな実」 第2学年 A表現(2)・B鑑賞(1)

2 題材について

本学級では、その日に頑張ったことがあると、学級のシンボルツリーに「えがおの実」を付ける活動をしている。「えがおの実」を増やそうと、様々な活動に積極的な姿勢で取り組む児童が多くなってきている。

この題材では、「えがおの実」の取組を関連付けることで、題材を自分のものとして捉え、自分が心の中に思い描いたことを自由に表現できるのではないかと考えた。さらに、国語科の「あったらしいな こんなもの」という単元とも関連付け、実の発想をより豊かに広げることができるようにした。

指導に当たっては、子どもの発想を大切に、その形や色の面白さに共感しながら、自分だけの「あったらしいな」と思う実を自由に表現する喜びを味わわせたい。そして思い描いた実の形や色、模様などの特徴を基に、様々な材料から自分のイメージに合うものを探し、組み合わせ方を考えながらつくる活動を楽しませたい。また、友達同士の活動の交流を通して、表現の面白さや工夫などを互いに認め合い、さらに自分の表現に生かすようにしたい。

3 題材の目標

- ・「あったらしいな」と思う実を興味をもってつくとともに、つくりだす喜びを味わう。
- ・つくりたい実の形や色などについて豊かに発想し、様々な材料の形や色の組合せを試しながら表し方を工夫する。
- ・自分や友達の見せ合い、表現のよさや面白さを味わう。

4 準備物

児童…木の実、タオル、水彩絵の具、新聞紙、身近な空き容器、爪楊枝、モール、ビー玉、おはじき、ビーズ類等

指導者…紙粘土、油性ペン、水性ペン、セロハンテープ、接着剤

5 学習計画(全3時間)

- (1) 様々な材料を用いて自分の作品をつくる。……………(2時間) 本時2/2
- (2) 出来上がった作品のよさを味わう。……………(1時間)

6 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
「あったらしいな」と思う実を、興味をもってつくろうとしている。	自分のつくりたい実を想像しながら、どんな形や色の実にしようか考えている。	発想した実をつくるために、様々な材料の形や色の組合せを試しながら表し方を工夫している。	つくったものを見せ合い、自分や友達の見せ合い、表現のよさや面白さに気付いている。

7 指導と評価の計画

	児童の活動	指導上の留意点 (■指導 ★評価)
前時	あったらしいなと思う実をつくろう！	
	自分が考えた実のイメージを発表する。	(国語科「あったらしいな こんなもの」の単元で、自分がつくりたい実を発想し、ワークシートにメモやスケッチをさせておく。) ★自分のつくりたい実を想像しながら、どんな形や色の実にしようか考えている。(発想や構想の能力)
	集めた材料を使って実をつくっていく。実の芯をつくり、紙粘土で芯を包み、実のおおよその形をつくる。	■できるだけ多様な材料を提示する。 ■空き容器や新聞紙を使って芯をつくる方法を示す。

<p>本時</p>	<p>自分の考えた実になるように、身近な材料を付け足したり、部分的に着色したりする。</p>	<p>■自分の考えた実にするためにどんなことをしたらよいかを考えさせ、表現を工夫させる。 ★実をつくる活動を楽しんでいる。 (造形への関心・意欲・態度) ■粘土の扱いを工夫したり、粘土べらで凹凸を付けたり、身近な材料を付け足したりして表現を工夫するように導く。 ★様々なものの形や色の組み合わせを試しながら表し方を工夫している。(創造的な技能)</p>
	<p>本時の活動を振り返る。</p>	<p>■気に入った実の形、色、材料の使い方、全体の印象などから発表させる。</p>